

Newsletter

平素より 公益社団法人医療系大学間共用試験実施評価機構（以下、CATO）の活動にご理解賜り、ありがとうございます。CATO の活動を多くの方に知っていただきたく、この度、Newsletter 第 6 号を発刊いたしました。

CATO は 8 2 の医科大学・医学部、2 9 の歯科大学・歯学部を支えられている組織です。今後とも引き続きお力添えの程、よろしくお願い申し上げます。

Headline

- ◆ごあいさつ 公益社団法人医療系大学間共用試験実施評価機構 理事
- 公益社団法人日本歯科医師会 副会長 藤田一雄
- ◆2025年度歯学生共用試験臨床実習前（CBT・OSCE）及び 臨床実習後 PX のご報告
- ◆CATO副理事長 就任のご挨拶
- ◆医学系・歯学系 全国規模の説明会・講習会のご報告（2026年5月～2026年7月）
- ◆職員研修会のご報告
- ◆理事会及び総会のご報告
- ◆財務状況のご報告（7月末までの実績）
- ◆ご寄附者様のご紹介

◆ごあいさつ

公益社団法人医療系大学間共用試験実施評価機構 理事

公益社団法人日本歯科医師会 副会長

藤田一雄



歯学教育の質保証と共用試験への期待

平素より、公益社団法人医療系大学間共用試験実施評価機構の活動に対し、格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

令和三年の医師法及び歯科医師法の一部改正により、共用試験は法律に基づく公的な試験として位置付けられました。医学系では令和五年四月から、歯学系では令和六年四月から、共用試験に合格した学生が、指導監督の下で一定の医業又は歯科医業を行うことが可能となりました。これは、卒前教育と卒後研修をつなぐ大きな制度改革であり、医療人養成の歴史においても極めて重要な一歩であります。

歯科医療は、う蝕や歯周病への対応にとどまらず、口腔機能の維持・回復、摂食嚥下、フレイル予防、さらには全身の健康管理に深く関わる領域へと、その役割を広げています。こうした時代にあって、歯科医師には知識のみならず、臨床技能、態度、コミュニケーション能力、そして多職種と協働する力が強く求められます。その基盤を学生時代から確実に身に付けるためにも、CBT、臨床実習前 OSCE、さらには臨床実習後臨床能力試験（PX）を含めた共用試験の意義は、ますます大きくなっていると感じます。

一方で、共用試験の実施には、各大学における教職員、評価者、模擬患者をはじめ、多くの関係者のご尽力が不可欠です。公的試験としての公平性、公正性、信頼性を高めることは当然重要ですが、そのために教育現場の負担が過度に増すことは避けなければなりません。試験制度は、学生を選別するためだけのものではなく、よりよい臨床実習と、質の高い歯科医師養成につなげるための仕組みであるべきです。

CATO におかれては、試験の質保証に加え、評価者養成、模擬患者養成、実施体制の整備、システム改善など、不断の努力を重ねてこられました。今後も、全国二十九の歯科大学・歯学部の声을丁寧を受け止めながら、現場の実情に即した持続可能な制度運営が進められることを期待しております。

歯科医師を育てることは、将来の国民の口腔健康を守ることにほかなりません。共用試験が、学生の成長を支え、大学教育を支え、ひいては国民に信頼される歯科医療の礎となるよう、関係各位とともに力を尽くしてまいりたいと存じます。

◆ 2025年度歯学生共用試験臨床実習前(CBT・OSCE)及び 臨床実習後 PXのご報告

I.歯学生共用試験臨床実習前（CBT・OSCE）

1． CBT について

- (1)2025 年度は、全国 29 歯学部・歯科大学の 2,288 名の歯学生が受験しました。そのうち、到達基準に達せず再試験になった者は 486 名（482 名受験）最終的未到達者は 247 名（10.8%）でした。
- (2)2025 年度は問題公募を行いませんでしたが、継続的に良問を作成・提出していただくために、「歯学生共用試験 CBT 全国説明会」を開催して、作問・ブラッシュアップのスキルアップのための講習会を行いました。ブラッシュアップ専門部会では、プール問題全問見直し作業およびこれまでに事後評価において再評価となった問題のブラッシュアップ作業を実施しました。FD 専門部会では、11 大学が開催した FD 研修会（作問ワークショップ）にタスクフォースの派遣を行いました。

2． OSCE について

- (1)2025 年度は、全国 29 歯学部・歯科大学の 2,304 名の歯学生が受験しました。そのうち、到達基準に達せず再試験になった者は 28 名（27 名受験）最終的未到達者は 3 名（0.1%）でした。
- (2)OSCE（臨床実習前）の評価者認定講習会が年 4 回実施されました。

領域ごとの認定評価者数は下記のとおりです。（令和 8 年 1 月時点）

領域	認定評価者数
医療面接	2,406 名
口腔内状態の記録	2,383 名
コンポジットレジン修復	900 名
齲蝕罹患資質の除去	897 名

領域	認定評価者数
ラバーダム防湿	900 名
支台歯形成	773 名
レストシート形成	772 名
概形印象採得	773 名
手指消毒と手袋の装着	899 名
普通抜歯	899 名

(3)模擬患者養成のための講習会、認定試験を実施し、2026 年 3 月末現在で、合計 400 名を超える標準模擬患者が認定されました。

3. 受験者のための合理的配慮支援、評価についての異議申し立て、試験の不正や実施要項からの逸脱事案について

(1)受験者のための合理的配慮支援について

本年度では、臨床実習前の共用試験の合理的配慮の申請件数は 28 件でした。その内訳は、①CBT 関連での合理的配慮の申請件数は 1 件、②OSCE 関連では 6 件、③CBT と OSCE の両試験に関連した申請は 21 件でした。④PX 関連の申請件数は 3 件でした。

(2)評価についての異議申し立てについて

2025年4月から2026年3月までの間に計3件の異議申立てがあり、Web会議またはメール会議にて審議および検証を行い、回答書をもって実施大学へ回答しました。以下が、2025年に対応した異議申し立ての内訳です。

①異議申立て数	3 件（2 大学）	CBT1 件、OSCE2 件
②異議申立てがあった試験	CBT 再試験 1 件、OSCE 本試験 2 件	
③回答書の内訳	異議申し立てに該当しない	1 件（CBT 再試験）
	当初の試験結果どおり	2 件（OSCE 本試験）

(3)不正や実施要項からの逸脱について

今年度の対応件数は、CBT0 件、OSCE 関連が 7 件、PX 関連が 1 件でした。取り扱い事案の内容は、以下の通りです。OSCE 関連の 7 件は、当該大学担当者の思い違いによるもので逸脱に当たらずと判断した 1 件、実施要項に定める規定を遵守せずに試験準備が行ったもの 3 件、実施要項に定める規定を十分理解せずに試験運営を行ったもの 2 件、試験終了後の処理に誤りがあったもの 1 件でした。PX 関連は、CPX において、機構に届け出た実施責任者が長期療養により担当できず、別の教員が POST-CC システムを操作した事案がありました。

II.歯学生共用試験 臨床実習後 PX

2025 年度は 29 大学、CPX2,098 名、CSX は 2,083 名の歯学生が受験しました。
CPX・CSX それぞれについて、評価者認定講習会を 6 月および 11 月に各 1 回実施し、計 4 回開催しました。試験の結果、認定者数は CPX77 名、CSX74 名でした。

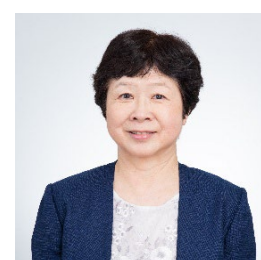
◆CATO 副理事長 就任のご挨拶



副理事長 葛西一貴

令和8年6月23日の定時総会後の臨時理事会において、副理事長を拝命いたしました。令和6年3月に事業部長（歯学系）に、令和7年4月からは事業部長として機構業務に専念して参りましたが、この度の江藤一洋副理事長のご勇退により後任の副理事長として機構業務を引き継ぐことになりました。公的試験としてのCBTならびに臨床実習前OSCEは順調に実施されており、臨床実習後OSCE・PXについても正式実施となり滞りなく運営されています。これも一重に各大学を代表して委員会業務を担っていただく委員の先生方のご努力によるものと感謝しております。また、機構業務を責任感をもって実施している機構職員の皆様の献身的な姿勢にも感謝しております。

機構委員の先生方、実施大学の教員・職員の方々、そして機構職員各位の負担軽減を念頭に、公平・公正な共用試験の効率的な実施を目指して参ります。関係各位の皆様方のご支援とご理解を賜りますようよろしくお願いいたします。



副理事長 野田 泰子

医療系大学間共用試験実施評価機構(CATO)の副理事長をこの度拝命いたしました。CATO は、日本全国の大学医学部・歯学部が、臨床実習前の医歯学生の総合力評価のために結束して育てあげてきた組織です。先達が積み上げてこられた実績が実り、医学系、歯学系の臨床実習参加に必須な、国家試験受験要件となる公的試験へと認定されました。今後も益々さまざまな進化が期待されるところで、この度の重責に身の引締まる思いです。

現在医学部 82 校、歯学部 29 校の会員である大学や医療機関、自治体の皆様や、医療を受ける立場の国民の皆様からも信頼される組織としてあり続けるために、会員大学との意思疎通を真摯に図りながら、共用試験の信頼性、有用性をさらに高めていけるよう努めて参りたいと存じます。会員の皆様にも一層のご支援とご協力を賜れば幸いに存じます。無論、受験者の皆様にも責任ある一翼を担って参画いただくことはいまでもありません。

最後に、医歯学生が実地の臨床実習を経て一人前の医療人へ育つためには、患者さんからの学びは欠かせません。CATO の活動に深いご理解をいただき、模擬患者としてのご協力やご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

◆ 医学系・歯学系 全国規模の説明会・講習会のご報告（2026年5月～2026年7月）

医学系

・5月8日（金）、9日（土）

今年度第1回目の医学生共用試験OSCE課題に関する合同合宿をCATO会議室で開催しました。全国から80余名の各領域の委員の先生方にお集まりいただき、領域ごとに、2028年度より実施する臨床実習前及び臨床実習後のOSCE課題を学修・評価項目に準じて調整する等の作業を、2日間実施しました。

・5月16日（土）、17日（日）、31日（日）

医学生共用試験臨床実習前 OSCE の客観性と信頼性を高める為の評価者認定講習会を、横浜市立大学福浦キャンパスで開催しました。医学生共用試験臨床実習前 OSCE は、領域ごとに分かれて開催する為の大規模な施設が必要となることから、今回は横浜市立大学のご厚意により、福浦キャンパスの看護学科の数教室と大教室を拝借させていただき、3日間合計で、全国の医学部教員 1,000 人近くが参集し、受講と認定試験が行われました。快く施設を拝借させていただいた横浜市立大学に心より御礼申し上げます。

・5月24日（日）

医学生共用試験臨床実習後 OSCE の評価者認定講習会を東京慈恵会医科大学の大会議室を拝借して開催しました。受講者は関東地方の大学や臨床研修病院のほか、九州地方、中国・四国地方、新潟から合計62名が参加されました。会場を拝借させていただいた東京慈恵会医科大学に御礼を申し上げます。



・6月2日（火）

医学生共用試験 CBT 統括実施責任者等認定講習会をオンラインで開催し、125名が受講されました。

・6月11日（木）

医学生共用試験OSCE標準模擬患者養成担当者認定講習会をオンラインで開催し、42名が受講されました。

・6月12日（金）、13日（土）

今年度第2回目の医学生共用試験OSCE課題に関する合同合宿をCATO 6F会議室で開催しました。全国から70名近い各領域の委員の先生方にお集まりいただき、領域ごとに、2028年度より実施する臨床実習前及び臨床実習後のOSCE課題を学修・評価項目に準じて、調整する等の作業を2日間実施しました。



・6月21日（日）

医学生共用試験臨床実習後 OSCE の評価者認定講習会を東京慈恵会医科大学の大会議室を拝借して開催しました。受講者は、全国の大学および医療機関から合計70名が参加されました。会場を拝借させていただいた東京慈恵会医科大学に御礼を申し上げます。



・6月29日（月）

医学生共用試験 CBT 統括実施責任者等認定講習会をオンラインで開催し、134名が受講されました。

・7月4日（土）

医学生共用試験 OSCE 標準模擬患者機構養成・新規講習会をオンラインで開催したところ、3名が受講されました。

・7月22日（水）

医学生共用試験 CBT 機構派遣監督者認定講習会をCATO6F会議室で開催し、48名が受講されました。

・7月24日（金）、25日（土）

医学生共用試験 CBT タイプAブラッシュアップの作業がCATO6F会議室で行われ、全国から44名の委員の先生方にお集まりいただきました。



・7月25日（土）

医学生共用試験 OSCE のための標準模擬患者認定試験を、大阪公立大学を拝借して実施しました。全国から26名の受験者が集まり、CATOの9名の委員によりOSCE形式の医療面接と知識テストからなる試験を行いました。大阪公立大学には事務職員の方々にお手伝いいただいたことや、会場を拝借させていただいたことへの御礼を申し上げます。

・7月26日（日）

医学生共用試験臨床実習後 OSCE の評価者認定講習会をミッドランドホール（名古屋）を拝借して開催したところ、51名の先生方が参加されました。

・7月28日（火）

医学生共用試験 CBT 機構派遣監督者認定講習会を大阪医科薬科大学の会場を拝借して開催したところ、北海道から九州まで27大学から34名の参加がありました。講習会会場を拝借させていただきました大阪医科薬科大学に厚く御礼を申し上げます。

歯学系

・5月16日（土）

歯学生共用試験臨床実習前 OSCE 標準模擬患者認定講習会を東北大学を拝借して開催したところ、3名が受講されました。施設を拝借させていただきました東北大学に御礼申し上げます。

・5月21日（木）

歯学生共用試験 CBT 機構派遣監督者認定講習会をCATO6F会議室にて開催し、37名が受講されました。

・5月23日（土）

歯学生共用試験臨床実習前 OSCE 模擬患者標準化大学担当者認定講習会を CATO 6 F 会議室にて開催したところ、22 名が受講されました。

・5月24日（日）

歯学生共用試験臨床実習前 OSCE 模擬患者標準化担当者認定講習会を CATO 6 F 会議室にて開催したところ、12 名が受講されました。

・5月25日（月）～6月5日(金)

歯学生共用試験 CBT 実施責任者認定講習会を e-learning にて実施し、58 名が受講されました。

・5月28日（木）

歯学生共用試験 PX CPX 実行責任者・機構派遣監督者認定講習会を CATO 6 F 会議室で開催し、26 名が受講されました。

・5月29日（金）

歯学生共用試験 PX CSX 実行責任者・機構派遣監督者認定講習会を CATO 6 F 会議室で開催し、26 名が受講されました。

・6月8日（月）

歯学生共用試験臨床実習前 OSCE 標準模擬患者認定講習会を東京科学大学を拝借して開催したところ、3 名が受講されました。施設を拝借させていただきました東京科学大学に御礼申し上げます。

・6月14日（日）

歯学生共用試験臨床実習前 OSCE 標準模擬患者認定講習会を九州大学を拝借して開催したところ、2 名が受講されました。施設を拝借させていただきました九州大学に御礼申し上げます。

・6月25日（木）

歯学生共用試験 PX CPX 評価者認定講習会を CATO 6 F 会議室にて開催し、37 名が受講されました。

・6月26日（金）

歯学生共用試験 PX CSX 評価者認定講習会を CATO 6 F 会議室にて開催し、32 名が受講されました。

◆職員研修会のご報告

・5月11日（月）・7月15日（水）

長島情報管理部長による「機構職員として知っておきたい情報セキュリティと情報管理の基本」と題する職員研修会が開催されました。試験情報を扱う立場として、必要な知識を習得しました。



◆理事会及び総会のご報告

○第 37 回定例理事会等の報告

令和 8 年 5 月 26 日（火）機構 6F 会議室において第 37 回定例理事会が開催されました。また令和 8 年 6 月 23 日（火）御茶ノ水ソラシティにおいて第 13 回定時総会及び第 10 回臨時理事会が開催されました。理事会等において審議・承認された主な事項についてご報告いたします。

（１）理事 19 名の選任及び理事長及び副理事長の選定について

第 13 回定時総会終結の時をもって、理事が 2 年間の任期を満了することに伴い、次期理事の選任が行われました。

理事候補者については、今回の改選に際して新たに設置された「役員候補者選考委員会」において、透明性を確保しつつ慎重に選考が行われ、その結果が理事会に提案されました。理事会では、提案された 19 名の理事候補者全員が承認され、その後、第 13 回定時総会において正式に選任されました。

新たに選任された理事の任期は、令和 10 年 6 月に開催される定時総会終結の時までとなります。

また、総会の後に開催された臨時理事会において、理事長及び副理事長の選定が行われ、理事長に栗原敏氏、副理事長に葛西一貴氏及び野田泰子氏が選定されました。

（２）令和 7 年度事業報告について

令和 7 年度における機構の公益事業等の実施状況を取りまとめた事業報告書が、理事会において承認され、定時総会において報告されました。

（３）令和 7 年度収支決算について

令和 7 年度収支決算について審議・承認されました。ポイントは次の 3 点です。

- ① 収益については、再試験に係る納入件数等の減により受験料が減収となったため、令和 6 年度と比較して約 49 百万円の減となりました。
- ② 費用については、医学系 OSCE 外部評価者の派遣人数の減に伴い旅費・謝金に係る経費が削減されたこと等により、令和 6 年度と比較して約 143 百万円の減となりました。
- ③ 上記の収益及び費用の状況を合わせると、令和 6 年度と比較して約 94 百万円の収支改善を図ることができました。

（４）定款の一部改正について

定款第 21 条第 2 項の改正について審議・承認されました。改正内容は次のとおりです。

- ・ 総会議事録への記名押印について、Web 出席者の増加や会員の負担軽減を踏まえ、議長と出席理事のうち 2 名が行う形としたこと

◆財務状況のご報告

令和 7 ・ 8 年度収支状況比較（7 月末までの実績）

（単位：千円）

科 目 等		令和 7 年度	令和 8 年度	増・△減
収入	会費	307,392	307,492	100
	受験料	227,158	246,281	19,123
	補助金	0	0	0
	その他	4	80	76
	収入計 A	534,554	553,853	19,299
支出	人件費	82,291	86,822	4,531
	旅費交通費	20,856	21,428	572
	通信運搬費	37,327	28,738	△ 8,590
	消耗品費	4,955	6,252	1,298
	印刷製本費	2,158	2,059	△ 100
	賃借料	29,157	26,057	△ 3,099
	諸謝金	18,560	17,667	△ 893
	委託費	2,276	4,077	1,801
	保守料	173	112	△ 61
	その他	51,053	43,657	△ 7,395
	支出計 B	248,804	236,868	△ 11,936
収 支 (A-B)		285,750	316,985	31,235

※ 補助金事業を含む。

◆ご寄附者様のご紹介

CATO は、共用試験の実施とその質を更に高める活動を通じて、優れた医師・歯科医師を養成することにより、国民の健康と福祉の向上に貢献しています。

CATO の活動にご支援くださった皆様には改めて御礼申し上げますとともに、No. 5 発行以降にご支援いただいた方をご紹介します。

【ご寄附者様(個人)のご紹介】

・ 小木曽 賢治 様

ご支援をいただける方は、お申込み方法が 2 種類ございます。

- ①以下 URL の下部の【お問合せフォーム】の中にございます【賛助会員の申込】または、【寄附金の申込】にご入力いただき、お送りください。
- <https://www.cato.or.jp/access.html>
- ②以下 URL より、【賛助会員入会申込書】または、【寄附申込書】をダウンロードし、メール、FAX または郵送のいずれかでお送りください。
- 【賛助会員入会申込書】
- <https://www.cato.or.jp/support/supportingmember/index.html>

【寄附申込書】

<https://www.cato.or.jp/support/donation/index.html>

お問い合わせ先

公益社団法人医療系大学間共用試験実施評価機構（CATO）事務局企画部

〒113-0034 東京都文京区湯島1-9-15 御茶ノ水 HYビル7F

E-mail: kikaku@cato.or.jp

公益社団法人医療系大学間共用試験実施評価機構 CATO (Common Achievement Tests Organization) 〒113-0034 東京都文京区湯島 1-9-15 御茶ノ水 HYビル 7F E-mail : kikaku@cato.or.jp URL : https://www.cato.or.jp/	【編 集】 CATO 事務局企画部 【発 行】 令和8年8月
--	---

◆ご意見・ご要望に関して

このニュースレターでご意見やお気づきの点などございましたら、お聞かせください。

CATO 事務局企画部 : kikaku@cato.or.jp
